

(1) 話し合いのルールづくり

①どんなルールがあると話しやすい？

【意見を尊重する・否定しない】

- ・お互い意見は色々あるから、お互いに尊重する
- ・違う意見でも耳を傾ける
- ・意見が片方の人と違って、先に「どうしてこういう意見になったの？」となど理由を聞いてから自分の意見をもう一度考え直す
- ・相手の意見にはすぐに反対せず、違う意見だったら「僕は～だと思うよ」みたいな感じで優しく言う
- ・差別しない
- ・嫌な気持ちになることを言わない
- ・嫌だと思ったら嫌という
- ・最後まで聞く
- ・途中で遮らない

【みんなが参加できる・話しやすさ】

- ・一人一つは意見を言う
- ・気軽に言える意見はだいたい言う
- ・仲間外れにしない
- ・人数が多くないとき（3～4人、4～5人、5～6人、20人）
※人によって意見が異なる

【聞き方・態度・雰囲気】

- ・相づちを打つ
- ・相手の目を見る。
- ・リアクションをする
- ・笑顔
- ・話している人をみる
- ・誰かが話すときは静かにする
- ・話を聞く姿勢
- ・こしょこしょ話をしない
- ・無視しない
- ・優しくしてくれる
- ・思いやってくれる
- ・あおらない
- ・ちょっかいをしない

【言葉づかい・配慮】

- ・いいね、ありがとう、などと反応する

第1回こども会議 A～C班の意見まとめ

- ・言葉づかい
- ・暴言はダメ
- ・ゴキブリと言われたくない
- ・プライバシーをほじくるようなことは良くないと思う

②言われたらうれしい言葉は？

- ・ありがとう
- ・いいね
- ・同じ
- ・僕もいいと思う
- ・私もそう思う

③言われたらいやな言葉は？

- ・そんなわけないだろ
- ・ばか
- ・しね

(2) 身の回りの「こどもの権利」

①こどもが大切にされているなど感じた時は？それはどうしてですか？

【意見・気持ちを聞いてもらえる／一緒に活動する】

- ・自分の意見を聞いてくれるとき
- ・皆で遊んでいるとき
- ・たくさんの人と何かをやる時
- ・1つのものを作り上げる時
- ・考えある？と聞いてもらえる

【やさしさ・思いやり・理解】

- ・ゆずってくれるとき
- ・皆がやりやすくしてくれるとき
- ・優しくしてくれるとき
- ・理解してくれる人がいるとき
- ・協力してくれる人がいるとき

【学校・先生との関わり】

- ・理想の先生（優しい、自分のことを分かってくれる）
- ・先生が分からないことを教えてくれたとき
- ・注意してくれる（怒られるのは嫌だけど、ありがたいと思う）
- ・いい先生とは・・・
お楽しみ会をしてくれる

第1回こども会議 A～C班の意見まとめ

優しい

ギターを弾いて一緒に歌ってくれる

身の上話をしてくれる

早く終わったら本を読んでもくれる

ミスをしたとき、×にしないで呼んで直して○にしてくれる

強い人＝パワーではない

ズルとかわさない

本に「優しさは何よりも強心なものになる」

困ったとき助けてくれた

譲りあい、分け合う

教えてくれる、あげる

【居場所・環境・地域】

- ・学校に行っていない子のための居場所づくりが進んでいる
- ・学校に行っていなくても家から出られる場所がある
- ・あそび場
- ・涼しい中で遊ぶ
- ・自然、登りやすい木
- ・学校の図書室
- ・登下校のとき、地域の人がこども優先にしてくれる
- ・小さな子が騒いでも許してくれる

【家庭・身近な支え】

- ・親にご飯を作ってもらっているとき
- ・買ってもらったり、知り合いや友達が手伝ってくれたとき
- ・心配されたとき

【自由・安心・好きな時間】

- ・自分の好きな場所で、好きなことを、好きな時にやれるとき
- ・好きな服が選べる
- ・好きなことをやっているとき
- ・その世界に入れる
- ・ゆっくりできる
- ・睡眠
- ・気が楽
- ・体育祭
- ・友達と遊ぶ

【支援・制度】

- ・支援があるとき（高校まで医療費無料、中学校給食費無料）

【認められる経験】

- ・マルシェで作ったものを買ってもらえたとき（中学生がつくったものを喜んで買ってくれた）

②こどものことが大切にされていないかもしれないと思ったことは？それはどうしてですか？

【理由を聞いてもらえない・一方的】

- ・意見を聞かずに自分勝手にされるとき
- ・無理にされるとき
- ・皆が納得できないとき
- ・親が最後まで話を聞いてくれない
- ・なぜダメなのか理由を教えてほしい

【先生・学校での出来事】

- ・叫んだり変なことをしないで遊んだりしていないのに、「うるさい」と怒鳴られたとき
- ・友達同士のトラブルで、片方が筆箱を投げて、先生に怒られるとき、何故筆箱を投げたのか、あまり聞かずに怒ったらしいこと
- ・入ってきた瞬間怒鳴る先生がいる
- ・学校に青いネイルをつけて行ったら、先生に「ツメが青いね」と言われた
- ・道徳の授業で「二わのことり」で「みそさざい」は、「どうしてこっそりその場を抜け出したのでしょうか」と先生が言って、私が「皆に止められたくないから」と言ったが、他の人が「皆の楽しいのを壊したくないから」と言って、先生が「どちらがいいか分かれましょう」と言って、最初は両方同じ数だったけど、先生は2つ目の意見をおして、1つ目の意見は自分だけになって先生に流されてしまい、1つ目の意見の人はいなくなってしまった
- ・学校で皆が同じことをする。人それぞれ特性があるのに、同じことをするのは権利が守られていないと思う。

【学び・配慮不足】

- ・安心して休めない
- ・休んだとき、その日の授業のことが分からない
- ・学校を休んだら、補習用のビデオが欲しい
- ・動画が欲しい

【否定・制限・指示】

- ・好きなことを否定された
- ・勉強してって言われたとき（マジでうざい、時と場合による）
- ・早く寝て、と言われたとき（指示命令）

第1回こども会議 A～C班の意見まとめ

- ・お気に入りの場所がなくなった
- ・ズボン、ネクタイを選んだら、どう見られるか不安
- ・校則の制服の着方が納得できない
- ・大人の理由でできないとき（審判の世界、大人中心、子どもでしょ目線）

【差別・偏見・視線】

- ・差別
→制服の学ランを着ていたら、道でジーっと見られた
- ・学校に行っていないと「えっ、学校行っていないの？」と近所のおばちゃんとかに言われる
- ・「こどもだから」を理由にするとき
- ・暴力をふるわれたり、暴言を言われるとき
- ・ランドセルを勝手に開けられたとき

【居場所・空間の問題】

- ・大人がいて子どもが入れない
- ・ラディアン自習室は大人ばかりでスペースがないときもある。意見を出せるところもない。
- ・ラディアン1階は小さい子が多くて賑やかすぎる。
- ・お金がかからず行ける店が少ない。
- ・駄菓子屋も大人が多くて入りづらいことがある。
- ・欲しいもの
自習室
本屋

【社会・世界の視点】

- ・遠い外国のせいでうまくいっていなかったり、環境が悪くなくて、疲弊している地域のこどもたちは国に大切にされていない

【不安・違和感】

- ・危ない遊び
- ・道徳全てが教訓で嫌（〇〇したら謝れ、△言ったら「いいよ」と言う）
- ・空気を読んでこうしろは嫌
- ・仲直りタイムが強制すぎて嫌、全然すっきりしない、もめた内容を理解してほしい、両方が納得できないこともある

（3）今日の気づき・感想

【話し合ってみての感想・気づき】

- ・時間がすぐ過ぎた

第1回こども会議 A～C班の意見まとめ

- ・楽しかった
- ・共感できることがたくさんあった
- ・リアクションもたくさんしてくれて、話しやすい空気
- ・皆それぞれ違う意見を持っていることが改めて分かった
- ・1つの行動に対して感じ方は人それぞれ
- ・それぞれの視点から考えられて楽しかった
- ・ネガティブな意見が多いかな
- ・違う意見を共有できて、色々な考えを持てた
- ・いろいろな視点の意見が出たから自分の考えを言いやすかった

【学び・振り返り】

- ・こどもの権利について詳しく知れた
- ・こどもの権利が守られていないことも多い
- ・今まで考えたことがあまり無いことだったけど、意見がたくさん出てきて、二宮の課題が話し合いをすることが分かってくるのかなと思った
- ・聞かれる権利となっているのが良い
- ・こどもにとって良いこと
 - やることが無いときに幸せ
 - 自由にできる時間

【進め方・場づくりについて】

- ・参考・資料が見やすいし、分かりやすかった
- ・最初の運動で体も気持ちもほぐれて良かった
- ・今の感じが良いので、継続してほしい
- ・こどもが町にあったらいいな、とか思うこととか、もっと話題がほしい
- ・小学生が参加するのは少しハードルが高い
- ・ジュースがあるときは、マイカップを持ってきて、と言ってくれたら持っていく

【全体を通して】

- ・いろいろな人に色々な大切にされているときと大切にされていないときがある。大切にされているとき、大切にされていないときは、こどもの権利に反していたり、守られていたり、理想の大切にされているときとか、学校に関する話が多くでした。
- ・町と世界の話、こどもの権利、人の権利、みんなが思いやり理想の社会になってほしい。

話し合いのルール

意見を尊重し、否定しない

- ・すぐに否定しない
- ・自分と異なる意見でも、まず理由を聞く
- ・最後まで話を聞き、途中で遮らない
- ・違う意見を伝える場合でも、攻撃的にせず、やさしい言い方をする
- ・差別的な態度や発言をしない
- ・嫌だと感じたことを『嫌』と言ってよい環境をつくる

誰もが参加

- ・一人ひとりが意見を言える機会を持つ
- ・仲間外れをつくらない

言葉づかい

- ・暴言や乱暴な言葉を使わない
- ・相手が傷つく表現を避ける
- ・プライバシーに過度に踏み込まない

聞き方、態度、場の雰囲気

- ・あいづち、リアクションを取りながら聞く
- ・話している人の方を見る
- ・静かに聞き、私語やこそこそ話をしない
- ・笑顔や思いやりをもつ
- ・相手をあおったり、ちょっかいを出さない

言われたら、うれしい言葉
ありがとう いいね
私もいいと思う
私もそう思う

言われたら、いやな言葉
そんなわけないだろ
ばか しね